

芽室町農業振興計画策定検討会議 第3回環境保全部会

日 時：令和2年2月12日（水）13:30～14:50

場 所：めむろ一ど2階 セミナー室

出席者：児玉部会長、森本副部会長、尾山部会員、鈴木部会員、林原部会員

欠席者：久保部会員、中嶋部会員、中島部会員

事務局：佐々木課長補佐、藤村係長（農産係）、平手主任（同）、河内主査（畜産係）、
河井主事（土地改良係）、一色主任（農業委員会事務局）

【開会】

藤村係長

欠席連絡者を報告

【部会長挨拶】

児玉部会長

活発な議論をお願いしたい。

【議件】

児玉部会長

検討項目1（資料1 P1～P2）について内容を確認

児玉部会長

前回の意見を踏まえて作成されたものだが、補足する点などないか。

森本副部会長

防風林はあるに越したことはないが、枝拾いが嫌だとか若い人には受けが悪い。

補助金は、写真を撮って提出するのが面倒。撮るのも忘れてしまう。

児玉部会長

環境保全組合は今年度で解散する組織はあるか。

河井主事

今のところない。5年更新のタイミングの組織が少ないというのもある。

児玉部会長

当初に比べたら4、5組合ほど減っている。

環境保全組合と町の補助で並行して適正な枝管理をやっているのはどうなのだろうか。

分かりづらい。

予算を使いきれない組合もある。何に使ったらいいのかと自分のところへ聞きに来る組合もある。根本からわかっていない。役員が交代してしまって何をしたいかわからないのだと思う。環境保全組合の制度の成り立ちや仕組みなど農家も町職員も知らない人が結構いる。

ほとんどが農事組合、行政区、部落単位でやっているが、祥栄は先を見据えて3地区一体化して始めた。課題解決には近い地域で一緒にやっていくことを町から提案していったらどうか。床さらい、草刈など、例えば町で3つの組合にしたらやりやすいし、お金も効率的に使われる。

河井主事

合併というのも方向性に入れるべきか。

児玉部会長

入れたらいいと思う。そうすれば人の交流も無くならない。

耕地防風林は、造成の話が町から出たら地域はOKという話になるだろうか。

林原部会員

枝が落ちない木ならいいが、拾った後どうするかというのが問題である。

児玉部会長

産廃になる。

鈴木部会員

拾った枝は防風林の下に山にしている。町の負担でできるなら任せたいという気持ちはある。

児玉部会長

保全組合で枝払いの話は出ないのか。祥栄地区では250～300万円の予算を組んでやっている。

鈴木部会員

道路沿いしかやっていないと思う。やりたいのは畑の中である。

児玉部会長

手出しがあると思っていたり、最初からできないと思っていたりする。説明不足である。

早くやらないと枝が太くなったら時間もお金も掛かる。やれば景観は本当にきれいになる。

鈴木部会員

除雪業務をやっている農家に吹き溜まりが多くできるところを聞き取って防風林を造成したらいいのではないか。幹線じゃなくても環境保全組合を入れてとか町で支援してもらうと吹き溜まりとかを防げるのかなと思う。

児玉部会長

ミルクローリーが通る道路とか、吹き溜まりの除雪も環境保全組合でできる。

鈴木部会員

青年部世代はほとんど知らないと思う。

児玉部会長

防雪柵があっても取付道路の4～5mが空いただけですごい状態になってしまう。

鈴木部会員

乾燥しているときの風もすごい。美生の町から山の方は通れなくなる時がたまにあって怖い。防雪柵より防風林の方がいいのかなと思う。でも、雪が少ない年があると被害を忘れてしまう。

児玉部会長

環境保全組合の取組に女性は参加しているか。

林原部会員

花植えなどはしている。

児玉部会長

お金が出るからと取組している人がいるけれどそれは違う。冬にでも基本を勉強する会を開いた方がいいかもしれない。

鈴木部会員

実働部隊は青年部が多い。1月下旬は冬季研修会をやっているので、勉強会をする機会はある。実働は息子だがお金は経営者である親に入ってしまうので、嫌々出て行っている部分がある。

児玉部会長

親が経営者でも実働が息子なら息子の口座に入れても問題ない。地域のやり方による。

児玉部会長

検討項目2（資料1 P3～P4）について要点を確認

森本副部会長

猟友会員はどれくらいいるのか。

藤村係長

40数名いる。

児玉部会長

アライグマは酪農家にいるのが多いのか。

鈴木部会員

サイレージとか配合飼料とかを食べていくと聞く。

児玉部会長

予算を組んで講習会を設定してどれくらいのわなを設置するのか、目標数を具体的に出した方がいい。酪農家が多い地区にお願いして講習会に出てもらうとか。

藤村係長

被害調査の結果から被害地区を分析して取り組みたい。

児玉部会長

被害がアライグマなのかキツネなのか、わかっていない人もいると思う。

鈴木部会員

酪農家の視察研修でわなを取り扱う会社の講習を受けたが、青年部全体で受けた方がいいと思った。

児玉部会長

全道的にはどこで被害が多いのか。

藤村係長

道央の果物産地が特に被害が大きい。

児玉部会長

一年でも早くしないとどんどん増えてしまう。町は100%予算を出してやるつもりなのか。

藤村係長

有害鳥獣対策協議会で助成している。関係機関で協力してやっていきたい。

児玉部会長

シカ対策は電気柵だけか。

藤村係長

侵入防止柵も検討中である。まずはモデル地区で検証してはどうかと考えている。

児玉部会長

他町で国の補助で資材を買ったが農家が設置をして大変だったと聞いた。

鈴木部会員

牧草地の面積が大きい地区でシカが増えているので、そっちから来るようになった。夜にしか出てこない。落ちたシカの角を機械に巻き込んでしまい修理代が掛かったりもしている。

児玉部会長

他町で環境保全組合による駆除の取組があるのであれば、アライグマの箱わな設置は組合を利用してやってもいいと思う。

【その他】

藤村係長

目次（案）（資料2）について説明

児玉部会長

追加すべきことなどあれば、お聞きしたい。

児玉部会長

基本方向2の2「芽室町農畜産物のPRと販路拡大の支援」とあるが、JAは販路拡大しないこととなった。芽室は町と農協が連携していない。他の町村は連携している。謳うのは問題ないが、どんなふうにするのか、JAと観光物産協会と連携するとか、手を繋いでやってほしい。年に1度は陳情なり要望なり行ってもらいたい。

佐々木課長補佐

総合計画にJAの側面支援ということで掲載している経過がある。

児玉部会長

ふるさと納税の返礼品の選定の仕方はどのようにしているのか。

佐々木課長補佐

選定の仕方については担当課に確認しないと詳細はわからない。

児玉部会長

精査しないといけないと思うが、幅広く選定してほしい。

【連絡事項】

藤村係長

農業振興検討委員会を4月に開催予定である。その前に、今回の内容を受けて大きな修正等があれば部会を開催するがいかがか。

児玉部会長

大きな変更はないので部会は開催しないでよいか。

部会員

はい。

児玉部会長

委員会は4月中旬までには開催してほしい。

佐々木課長補佐

委員会前に他の部会で会議を開くことがあれば準備に時間が掛かるが、なるべく4月中旬までに開催したい。

藤村係長

他の部会で出た意見も合わせて作成した計画案を委員会で示させていただく。

児玉部会長

委員会後にまた部会が開かれていくことになるが、事務局と調整して、皆さんにお知らせする。

【閉会】